

## 平成27年度全国安全週間 社長安全パトロールを実施

戸田建設（社長：今井雅則）は、全国安全週間の初日にあたる7月1日、今年度開設した首都圏土木支店が施工する「都財務副11号高架橋耐震」「道路保全公社佃大橋他耐震」「都下水南元町幹線」の各作業所（いずれも東京都新宿区）の安全パトロールを実施しました。社長自ら作業所の安全点検を行うことにより、安全衛生管理の重要性を全職員及び協力会社に発信するものです。

安全パトロールでは、先ず毎日の安全施工サイクルの基本である朝礼に出席し、ラジオ体操に参加したうえで、作業間連絡調整と安全指示事項の伝達の実施状況を確認しました。作業所長による安全週間の趣旨及び週間活動計画の説明、作業員代表者による安全宣言にも立ち会いを行いました。

引き続き行われた安全講話で、社長は“喜び”を実現する企業グループを目指し、魅力ある作業所をつくっていくことの重要性を訴えました。災害の起きない作業手順を考え、絶対に怪我をしないことが重要であり、その為に、作業所のあるべき姿として「作業所で働く人同士が仲間意識を持つことができ、誰もがプライドを持って働ける環境」をみんなで力を合わせて実現すべき旨を話しました。また、「一人ひとりが自分の身は自分で守ること、危険への感受性を高めること」、併せて、「自分自身の価値を高めること、プロとしてのプライドを持って、効率性・安全に優れ、高いレベルの品質を確保した仕事を提供すること」を目指すべき旨を強く訴えました。

続いて行った作業場の安全点検では、安全衛生方針で謳っている『危険ゼロ』の状態が維持されているか、リスクアセスメントを行った災害防止対策を計画し、確実に実施されているかを確認しました。

最後に、社長は、建設現場であっても、女性が安心して働ける職場環境を整備すること、誰が見ても格好いい現場にし、働く人たちのモチベーションアップを図ることで、社会に対して建設現場の魅力をアピールすることが重要である旨を訴えました。



写真1 朝礼で挨拶を行う社長



写真2 作業場内の点検